

## 取組み状況と今後の予定



## a 馬込川の改修 ・ 維持浚渫

項目	ハード対策	担当機関	静岡県 浜松土木事務所
	流下能力の向上、維持管理		

### 【対策の内容等】

馬込川河口から高塚川合流地点までの約3km区間において河床掘削を実施し、馬込川の流下能力向上を図る。

また、H27.10浸水被害発生後、平成28年度の対策とは別に、H27年度予算にて河床掘削V=約23,000m<sup>3</sup>を実施済。

### 【事業のスケジュール】

アクションプラン 前半					後半
H28	H29	H30	H31	H32	~H37
維持工事					
		改修工事			



河口部土砂堆積状況

### 【平成28年度の実績】

**豪雨対策緊急整備事業(河川)にて工事を実施**

工 期:平成28年9月 ~ 平成29年1月

請 負 人:株式会社東海土木

工 事 概 要:河床掘削工 V=7,000m<sup>3</sup>

### 【今後の予定】

平成29年度以降においても引き続き河川内の堆積土砂の掘削工事を実施していく。





## b、d 高塚川の改修（河床掘削・ポンプ増強）

項目	ハード対策	担当機関	浜松市 河川課
	洪水処理施設の整備と維持管理		

### 【対策の内容等】

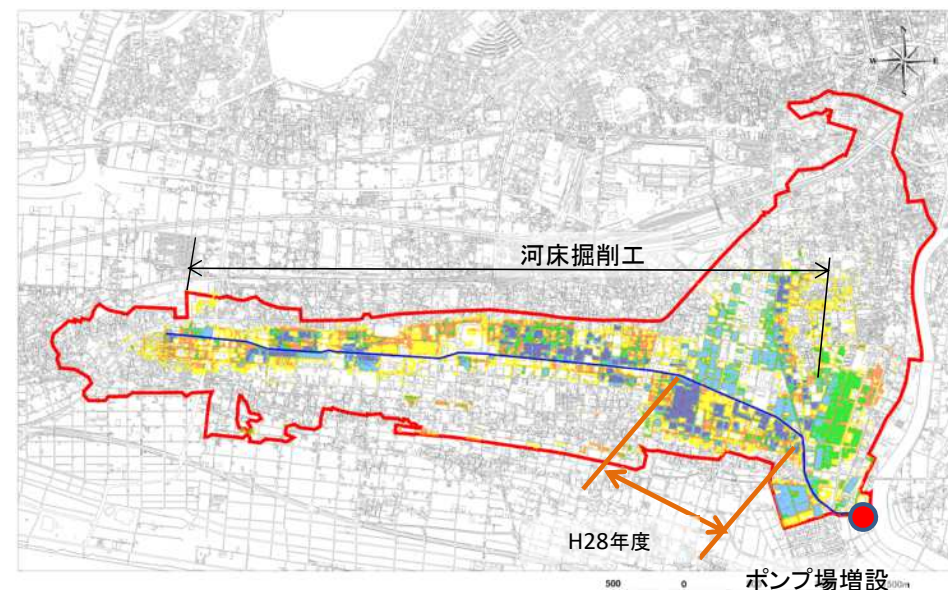
- ・河床掘削にて河川断面の拡幅を行うことにより、流下能力向上を図る。
- ・馬込川合流点に排水機場（ $2.83\text{m}^3/\text{S}$ を増設）することで、高塚川のポンプ排水能力を増強し、排水能力向上を図る。
- ・高塚川の改修計画を検討すると共に、準用河川に指定する。

### 【事業のスケジュール】

アクションプラン 前半					後半
H28	H29	H30	H31	H32	～H37
 河床掘削工事					 ポンプ増強工事
 調整・委託設計・用地取得					
 改修計画検討、準用河川指定					

### 【平成28年度の予定】

- 高塚川河床掘削工事 L=1000m
- 水草・藻の除去 A=5,500m<sup>2</sup>
- 河床掘削 V=1,100m<sup>3</sup>



- 調整・委託設計
- 工事
- 実施中
- 計画

### 【今後の予定】

- 河床掘削工
- 平成29年度:ポンプ場概略設計
- 平成30～32年度:関係機関調整・用地取得
- 平成33年度～:工事着手
- 高塚川改修計画の検討

# c 田尻排水機場の更新

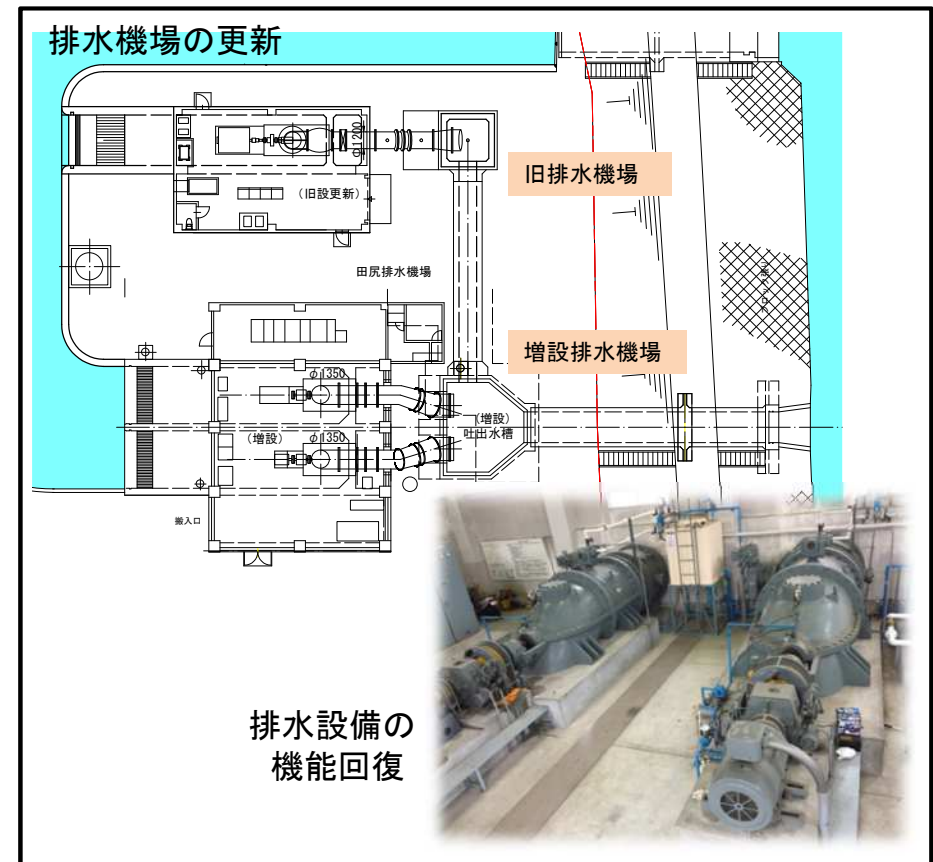
項目	ハード対策	担当機関	静岡県 西部農林事務所
	流下能力の向上		

## 【対策の内容等】

旧排水機場のポンプ設備を全面更新し、増設排水機場のポンプ設備を分解整備や劣化部品の交換・調整を行い、排水能力の回復を図る。

## 【事業のスケジュール】

アクションプラン 前半					後半
H28	H29	H30	H31	H32	～H37
設備設計					
旧排水機場 工事					
	増設排水機場 工事				



## 【平成28年度の実績】

### 排水設備設計業務

期 間:平成28年9月～平成29年3月

受 託 者:NTCコンサルタンツ(株)

(株)葵エンジニアリング

業務概要:ポンプ設備設計 1式

除塵機設備、樋門設備等設計 1式

### 旧排水機場の更新工事着手

工 期:平成28年11月～平成29年3月

請 負 者:(有)橋本工業

日管(株)

工事概要:旧排水機場 上屋撤去 1式

旧排水機場 ポンプ設備 1式

## 【今後の予定】

「旧排水機場」 H29年度 機場下部工 H30年度 上屋建設工事

H30～31年度 ポンプ設備等整備

「増設排水機場」 H29～H30年度 ポンプ設備分解整備

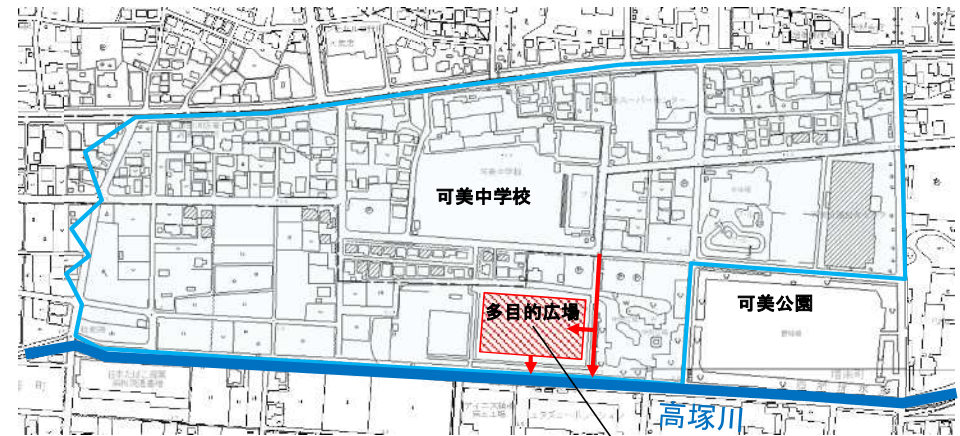
H31年度 付帯施設整備

# e 貯留施設整備(下水道施設)

項目	ハード対策	担当機関	浜松市 下水道工事課
	流出抑制		浜松市 南土木整備事務所

## 【対策の内容等】

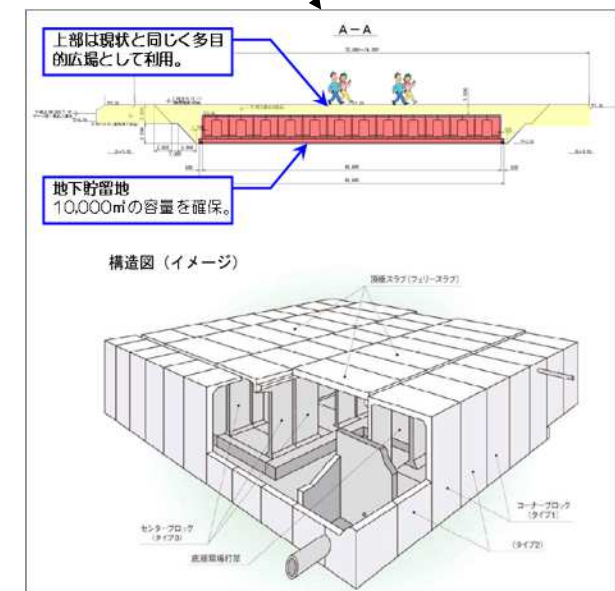
広域避難地である可美公園や、避難所である可美中学校を含む市街地(A=約19ha)の雨水を一時的に貯留するために、可美公園多目的広場地下に雨水調整池(V=10,000m<sup>3</sup>)及び流入水路を整備する。



## 【事業のスケジュール】

アクションプラン 前半					後半
H28	H29	H30	H31	H32	~H37
●——●		雨水調整池整備			
	●- - -●	流入水路整備			

- 調整・委託設計
- 工事
- 実施中
- - -● 計画



## 【平成28年度の実績】

### 工事着手

工 期: 平成28年10月～平成30年3月  
 請 負 人: 須山・水野特定建設工事共同企業体  
 工事概要: 雨水調整池整備 V=10,000m<sup>3</sup>

## 【今後の予定】

### 工事予定

雨水調整池整備(H28～H29)  
 流入水路整備(H29～H30)

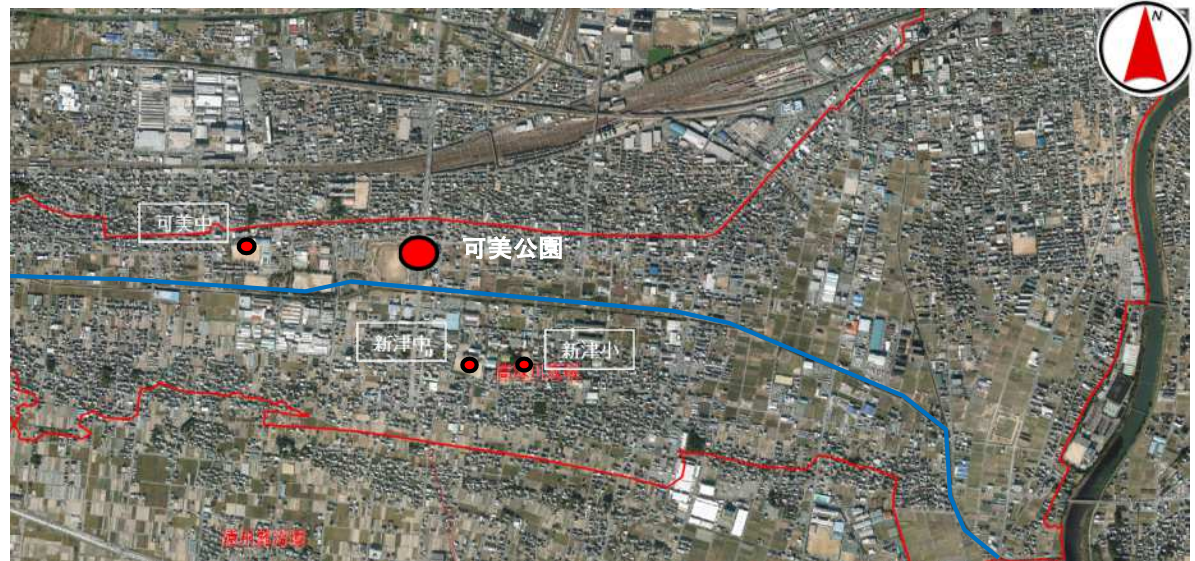


# e 貯留施設整備(校庭貯留)

項目	ハード対策	担当機関	浜松市 学校施設課
	流出抑制		

## 【対策の内容等】

学校グラウンドを利用し、学校からの雨水流出を抑制する施設を整備する。  
(新津小・新津中・可美中)



## 【事業のスケジュール】

アクションプラン 前半					後半
H28	H29	H30	H31	H32	~H37
	●	●			
	工事	①	②	③	

- 調整・委託設計
- 工事
- 実施中
- - - 計画

## 【平成28年度の実績】

対象校への事業説明

## 【今後の予定】

H29 測量・設計(3校)  
H30~32 工事



施工イメージ(可美中学校)

# e 貯留施設整備(公園貯留)

項目	ハード対策	担当機関	浜松市 公園管理事務所
	流出抑制		

## 【対策の内容等】

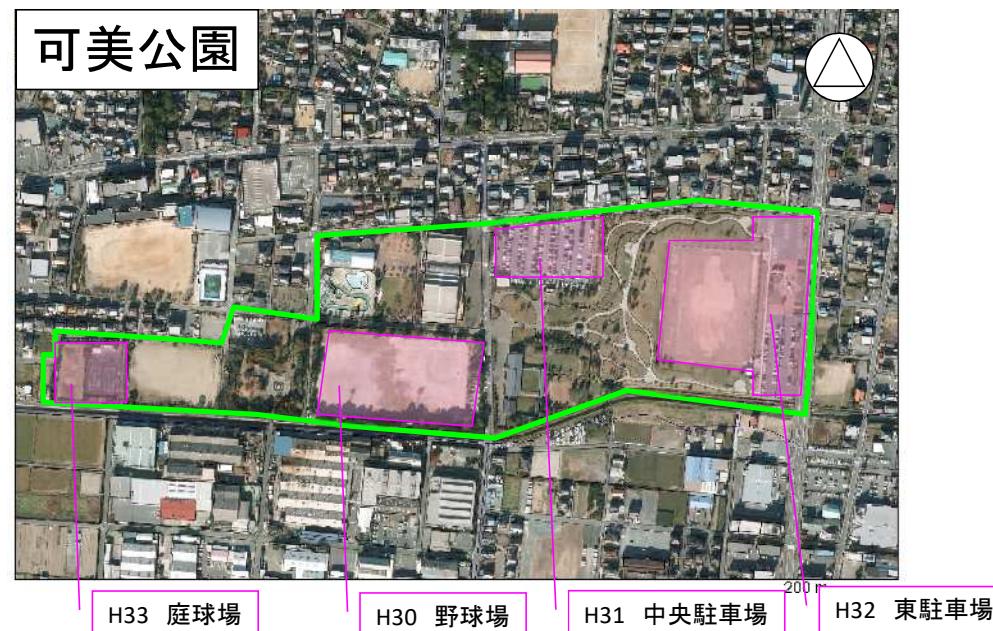
公園内の駐車場やグラウンドを利用し、公園内に降った雨を貯留して流出を抑制する施設を整備する。

## 【事業のスケジュール】

アクションプラン 前半					後半
H28	H29	H30	H31	H32	~H37
●——● 現地調査・構想策定					
	●——● 全体計画、実施設計				
	工事 ●——●				

## 【平成28年度の実績】

現地調査、構想策定



## 【今後の予定】

可美公園内で4箇所の貯留施設整備

H29 全体計画、概略設計

1年に1箇所整備

H30 野球場

H31 中央駐車場

H32 東駐車場

H33 庭球場



# i 排水機場の運転ルールの方定、適切な維持管理

項目	ソフト対策	担当機関	浜松市 農地整備課
	維持管理等		

## 【対策の内容等】

- ・ 農業排水機場の排水効果を発揮するための運転ルール及び管理方法の方定、実施。
- ・ 排水機場の管理人・運転人の負担軽減を図るため、塵芥処理支援業務を委託する。
- ・ 各排水機場の巡回(運転支援)を排水機場の機能に精通している業者へ委託する。



## 【事業のスケジュール】

名称	H28	H29	H30	H31	H32	~H37
運転ルール	ルール策定		運用			
塵芥処理		運用	塵芥処理支援業務委託の発注			
運転支援		運用	運転支援業務委託の発注			

## 【平成28年度の実績】

- ・ 運転ルールの策定、洪水時前の事前排水の試行。
- ・ 塵芥処理支援業務を委託発注

## 【今後の予定】

- ・ 経験、実績を積み重ね、よりの確なルールの確立を目指す。
- ・ 塵芥処理支援業務及び運転支援業務の委託発注

# j 水源転換と逆流防止施設の設置

項目	ハード対策	担当機関	浜松市 農地整備課
	維持管理等		浜松市 河川課

## 【対策の内容等】

### ＜水源転換＞

水田の取水方法を、高塚川から取水する方法から、水路を整備し取水する方法に転換する。

### ＜逆流防止施設の整備＞

水源転換することで、高塚川を排水路として利用できることから、逆流防止施設の整備をし、住宅地への高塚川からの逆流防止を図る。



高塚川支川用水路から、水田へ水をひく。



用水路を整備し、水田へ水をひく。

## 【事業のスケジュール】

名称	H28	H29	H30	H31	H32	～H37
水源転換	調査検討	測量設計	工事			
逆流防止施設			測量設計	工事		

## 【平成28年度の実績】

調査検討      用水路工    L=2,000m

## 【今後の予定】

代替水路測量設計    L=2,000m  
 代替水路工事        L=2,000m  
 逆流防止施設設置





# k 市街化調整区域における集落制度に関する開発許可制度の運用基準の見直し

項目	ソフト対策	担当機関	浜松市 土地政策課
	流出抑制対策		

## 【対策の内容等】

郊外地における保全と開発のあり方について検討し、現行の集落制度に関する区域・用途等の基準の見直しを行い、湛水域の宅地化の抑制を図る。

## 【事業のスケジュール】

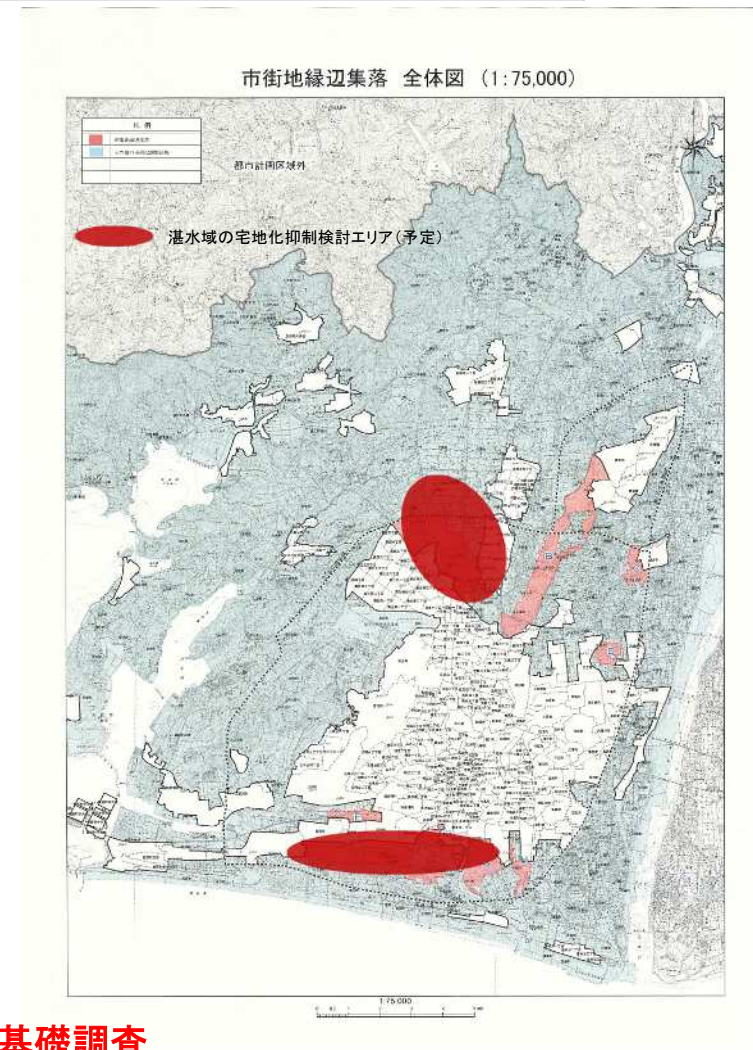
アクションプラン 前半					後半
H28	H29	H30	H31	H32	～H37
運用基準見直しの調査・検討・案作成			パブコメ 条例改正手続き等		運用開始 (H32)

## 【平成28年度の実績】

H29基礎調査のための予算措置

## 【今後の予定】

H29運用基準見直しのための基礎調査  
H30条例改正に向けた検討・案作成  
H31条例改正



# I 水田貯留

項目	ソフト対策	担当機関	浜松市 農地整備課
	流出抑制		

## 【対策の内容等】

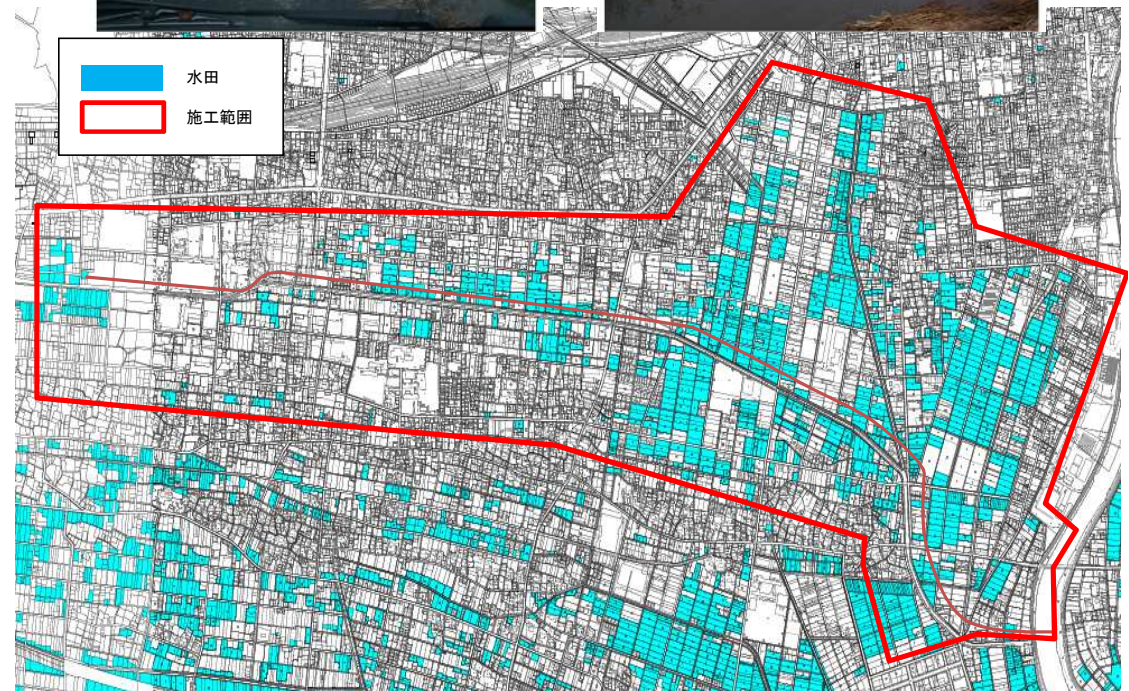
水田の排水口に堰板設置等の改良を行い、雨水の流出時間を遅らせ、流出を抑制する。  
水田での湛水を許容し、農地保全や畦畔の再構築、流出抑制対応の協力を依頼する。

## 【事業のスケジュール】

アクションプラン 前半					後半
H28	H29	H30	H31	H32	～H37
-----●			現地調査・地元調整		
		工事 ●-----●			

## 【平成28年度の実績】

調査検討  
水田貯留能力



## 【今後の予定】

引き続き、現地調査を行い、適切な水田の活用方法を検討し、農家へ流出抑制対応の協力を依頼する。



# m 地域防災力の向上（出前講座・避難訓練）

項目	ソフト対策	担当機関	浜松市 南区 区振興課
	意識啓発		浜松市 危機管理課

## 【対策の内容等】

風水害・避難行動についての出前講座、避難訓練等を実施し地域防災力の向上を図り、人的被害・物的被害の軽減を目指す。



出前講座の状況

## 【事業のスケジュール】

アクションプラン 前半					後半
H28	H29	H30	H31	H32	～H37
出前講座					
	風水害の避難訓練				

避難訓練



図上避難訓練

## 【平成28年度の実績】

### 出前講座を4回実施

（米津町、新津地区社協、南陽中学校、東部中学校）

## 【今後の予定】

地域や学校等からの要望に応じて対応する。



# n 土のうステーション事業

項目	ソフト対策	担当機関	浜松市 河川課
	被害軽減		

## 【対策の内容等】

市民の自助、地域の共助活動の手助けとして、住民がいつでも利用できる「土のうステーション」を設置し、地元自治会・浜松市が協働し運用を行う。

## 【事業のスケジュール】

アクションプラン 前半					後半
H28	H29	H30	H31	H32	～H37
申請・設置			土のう補充		



## 【平成28年度の実績】

平成28年6月より運用開始し、合計28箇所を設置。  
可美地区5自治会へ13箇所設置。  
新津地区5自治会へ15箇所設置。

## 【今後の予定】

設置箇所に土のう補充を行うと共に、地域住民に対し効果的な土のう設置方法等の周知を行っていく。

# p 河川カメラ・水位計の増設・公開 r 風水害時の道路情報等を市民へ公開

項目	ソフト対策	担当機関	浜松市 河川課
	被害軽減		浜松市 危機管理課

## 【対策の内容等】

防災に関する情報をインターネット上に公開し、市民自身による判断材料とし、適切な浸水対策・避難行動に繋げる。

## 【事業のスケジュール】

名称	H28	H29	H30	H31	H32	～H37
河川カメラ・水位	システム構築	運用				
道路情報等	システム構築	運用				

## 【平成28年度の実績】

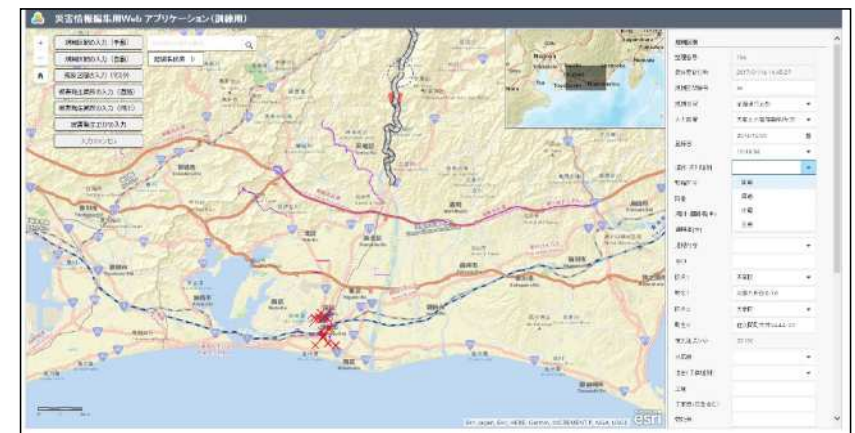
河川カメラ1箇所、水位計1箇所の増設。  
浜松市土木防災情報システム(河川カメラ・水位)の構築、運用開始。  
浜松市災害対応支援システム(道路情報)の構築。

## 【今後の予定】

地域住民に対し効果的な利用方法等の周知を行っていく。



浜松市土木防災情報システム(河川カメラ・水位)



浜松市災害対応支援システム(道路情報等)

# q 高塚川の避難に関する情報提供

項目	ソフト対策	担当機関	浜松市 危機管理課
	浸水被害軽減対策		浜松市 河川課

## 【対策の内容等】

市民の避難行動に関する情報として、浸水被害に基づく、ハザードマップの作成及び、高塚川の避難判断水位を設定し、住民へ周知・啓発する。

## 【事業のスケジュール】

アクションプラン 前半						後半
名称	H28	H29	H30	H31	H32	～H37
ハザードマップ	浸水想定区域の設定		ハザードマップの作成			
	ハザードマップの検討					
避難判断水位	基準の設定		運用			



## 【平成28年度の実績】

- ・高塚川流域の浸水想定区域の設定。
- ・高塚川流域の避難判断水位の設定。

### 浸水想定区域

- 天竜川(H28.12 発表)
- 馬込川(H29. 6 予定)
- 高塚川流域の内水

水害ハザードマップ

## 【今後の予定】

- ・馬込川や天竜川を含めた水害ハザードマップを検討する。ハザードマップ作成前に浸水想定区域図の公表。
- ・避難判断水位は試行運用を行い、今後の被災状況などで検証を行い、避難情報等発令基準を見直していく。



# 今後の予定 協議会

第1回浜松市南部(馬込川下流域)総合的治水対策推進協議会(平成27年11月5日)

○流域の概要、浸水被害の状況、浸水被害の分析、対策の方向性



第2回浜松市南部(馬込川下流域)総合的治水対策推進協議会(平成28年3月18日)

○浸水メカニズム・浸水原因の分析、対策の方向性



第3回浜松市南部(馬込川下流域)総合的治水対策推進協議会(平成28年7月14日)

○治水目標の設定、対策の検討(対策メニューの立案)



地元報告会の実施 新津地区:8月30日

可美地区:9月13日

第4回浜松市南部(馬込川下流域)総合的治水対策推進協議会(平成29年1月31日)

○高塚川流域浸水対策アクションプランの策定



平成29年度 浜松市南部(馬込川下流域)総合的治水対策推進協議会(平成30年1月予定)

○対策の進捗状況の確認、対策メニューの見直し

今回協議会